

25 大阪産業大学

Osaka Sangyo University

大阪産業大学 学生フォーミュラ参戦プロジェクト

OSURacing

<http://osugformula.web.fc2.com/>

歴代最高 14 位以内をめざして



今回の総合結果・部門賞

●総合 35 位

Profile チーム紹介・今までの活動

大阪産業大学 学生フォーミュラ参戦プロジェクトは今年で発足9年目を迎えました。メンバーは工学部の1~3回生で構成されており、個々の能力は高くはないが知識、経験を積み重ねチーム力の底上げをすべく日々の活動に取り組んでいます。

Team-member チームメンバー

植村 崇史 (CP)

上田 博之 (FA)、丸山 太加志 (FA)
友金輝、古川 晃輝、景山 葵、田村 友一、
森田 正明、磯村 諒、尾浦 健太郎、木寺 若苗、
木元 康太、櫻井 慎吾、深川 敬史、
宮口 真一郎、井上 佑太、川合 光一、
後藤 光義、中島 正人、畑中 拓海、藤岡 滯哉

Presentation

プレゼンテーション

大阪産業大学 学生フォーミュラ参戦プロジェクトは「安全性・操縦安定性に優れた本格小型フォーミュラカー」をコンセプトに掲げ、若者をターゲットとし、初心者が安心して走行できる車づくりをめざしました。

昨年度は軽量化とヨー慣性モーメントの低減を目標としマスの集中化を図りましたが、タイムは思うように伸びませんでした。そこでこれまでのパッケージレイアウトの見直しと共に、シャーシ剛性向上に努め、また今年度からエアロデバイスを追加しグランドエフェクトを利用した揚力の低減を試みました。

パワートレインでは吸排気系の形状を最適化し最大出力、最大トルクの向上を図りました。構造変更や初の試みで製作に悩む事は多くありましたが、昨年度より完成度の高い車両を作ることができました。

Participation report

参戦レポート

今年度、私たちは歴代最高順位 (14 位以内) を目標として活動してきました。

今年もスケジュール管理が甘く、車両の完成は大幅に遅れ、走行回数を十分に取ることができずドライバー育成が不十分なまま大会を迎えてしまいました。

動的審査において、エンデュランスでドライバー交代時に再スタートできずリタイヤとなりました。しかしドライバーは予想を上回るタイムを残し、自信を持つことができました。

静的審査ではすべての静的審査の得点を向上させることができ、例年より良い成績となりました。今まで苦手としてきた静的審査でしたが総合得点を向上させるために例年より力を入れて取り組みました。コストでは毎年0点であったAccuracyで得点することができました。

今年度大会は動的審査の順位を大幅に落としてしまい、悔いが残る結果となりました。来年度は満足のいく結果が得られるように、チーム運営と車両における問題点の改善に努めたいと思います。

最後になりましたが、大学関係者の皆様、スポンサーの皆様、OBの皆様、ご協力してくださったすべての方にこの場を借りて御礼申し上げます。

Sponsors スポンサーリスト

大阪産業大学、川崎重工業、RS タイチ、ウエダ、
NTN、F.C.C.、クニ・ケミカル、ダウ化工、三和メック
工業、砂山製作所、スポーツランド生駒、住友電装、
SolidWorks、大東ラジエーター工業所、タカタ、日信
工業、マツダ、タニ・アイアンワークス、ミスミ、メガテック、
RAYS、和光ケミカル、丸八、アルテクノ、プラスミュー、
プレニー技研、アルテアエンジニアリング、マズワークス、
ジャパン、プラスミュー

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/25.html>